

ワイヤレストーク

WCM10

簡易移動機

〈防沫形※2〉

DECT準拠方式※1

このたびは本製品をお買い上げいただきありがとうございます。

保証書付

電源：リチウムイオン電池（内蔵）
専用充電台付属

ご使用前に取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られるところに保管してください。

本製品は単独では使用できません（親機 WCC10 が必要です）。
また、弊社 DWP シリーズとは互換性はありません。

※1） DECT（Digital Enhanced Cordless Telecommunications）は ETSI（欧州電気通信標準化機構）の商標で、世界で広く普及している無線通信方式のひとつです。

※2） 防水性能：IPX4（防沫形）
ただし充電台は除く

※3） 本製品には電源スイッチがありませんので、
電源を切ることはできません。

はじめに | 充電と、親機への登録が必要です

充電後、登録作業が済んでいない簡易移動機は使用できません。

詳しくは 9 ～ 10 ページをご覧ください。



簡易移動機※3



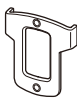
充電台

もくじ

はじめに	1 ～ 4
安全上のご注意	2 ～ 4
ご使用前に	5 ～ 10
各部の名称とはたらき	5
ランプの表示について	6
準備する	7
本製品について…知っておいていただきたいこと	8
快適な通話を保つために	8
機器の登録を解除する（初期化する）	9
簡易移動機を登録する	10
使いかた	11・12
通話する	11・12

設定する	13 ～ 16
相手の声の大きさを変える（受話音量）	13
着信音の大きさを変える（着信音量）	13
着信音の鳴り分け設定	14
自動応答を設定する	15
電池残量警告音について	16
故障と判断するまえに	17・18
仕様	19・20

■セット内容

		
簡易移動機 【1 台】	充電台用 AC アダプター (UV305-0505-JDXA-0007) 【1 個】	充電台 【1 台】
		
ベルトクリップ 【1 個】	取扱説明書 【1 部】	充電に関する注意書 （ご使用になる前に） 【1 部】

はじめに

ご使用前に

使いかた

設定する

故障と判断する前に

仕様

安全上のご注意

お使いになる方や他の人々への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。本文中に使われている図記号の意味は、次のとおりです。

	危険	誤った取り扱いをすると、死亡や重傷を負う危険が切迫して生じる可能性があるもの
	警告	誤った取り扱いをすると、死亡や重傷を負うなど重大な結果に結びつく可能性があるもの
	注意	誤った取り扱いをすると、傷害または家屋・家財などの損害に結びつく可能性があるもの

	一般的な注意事項		水ぬれ禁止		接触禁止		指示を守る
	一般的な禁止事項		分解禁止		ぬれ手禁止		プラグを抜く

警告

指定の電源で使用する

- ◇必ず付属の専用 AC アダプターを使用する。
他の機器の AC アダプター等を使用すると火災や感電の原因となります。
- ◇付属の専用 AC アダプターは AC100V (50/60Hz) コンセントを使用する。
100V 以外のコンセントに差し込むと、火災や感電、故障の原因となります。

次の場所に設置しない

- ◇雨水などがかかる場所
軒先であっても台風等により雨水が内部に侵入し、故障の原因となります。
- ◇直射日光の当たる場所、熱器具の付近や高温になる場所、湯煙や湿気、ホコリの多い所
火災や感電、故障の原因となります。
- ◇強度の不足する場所、不安定な場所
落ちたりして、けがの原因となります。
- ◇人の通行の妨げになる場所
AC アダプターのコードを引っ掛けたりして、けがや破損の原因となります。
- ◇幼児やお子様の手の届く範囲に放置しない
誤ってストラップを首に巻き付け、窒息を起こす原因となります。

スピーカーを耳にあてない

着信音や通話音による難聴等の原因となります。

結露した状態で使用しない

故障の原因となります。結露がとれた後にご使用ください。

下記のような場所や条件では、人体や医療機器等に影響を与える場合がありますので、取り付けないでください

- ◇病院等の使用を禁止された区域
- ◇医療用電気機器の近く
(手術室、集中治療室等)
- ◇自動ドア、火災報知機等の自動制御機器の近く
- ◇心臓ペースメーカーの装着部位から 22cm 以内の位置
誤動作による事故の原因となることがあります。

異常があるときは、すぐに使用をやめる

次のような異常時は、AC アダプターをコンセントから抜き、販売店・工事店、または弊社カスタマーセンターに連絡してください。

- ◇煙がでる、変な臭いがする
- ◇内部に水や昆虫、物が入った
- ◇異音が出る
- ◇AC アダプターのコードや、本体の外部が破損、劣化している
火災、感電、けが、故障の原因となります。

分解や改造はしない

分解や改造は法律により禁止されていますので、絶対にしないでください。

⚠ 警告(つづき)

ぬれた手で充電しない

感電や故障の原因となります。



雷が鳴り出したら本体やコードに触れない

感電の原因となります。



⚠ 注意

距離が離れていたり、100m 以内でも、間に次のような障害物が存在したり、環境により、電波が弱くなってブツブツ音、通話の途切れが起きて使えないことがあります



● 障害物

- ・ ドア(金属製など)や雨戸(シャッター)
- ・ 複層ガラスの窓
- ・ アルミ箔入りの断熱材が入った壁
- ・ 壁を何枚も隔てたところ
- ・ コンクリートやトタン製の壁

● 環境

- ・ テレビ、ラジオ、携帯端末の電波塔が近くにある場合。
- ・ テレビ、ラジオ、パソコン、FAX、電波式送信機や受信機など電波を発生している家電製品やその他のOA機器が近くにある場所。
- ・ 近くで PHS を使用している場合。
- ・ 各機器をそれぞれ別の階や家屋等で使うとき。

お手入れの注意

ベンジンやアルコール、シンナー等は使わず、乾いた布で乾拭きしてください。
溶けたり、変形、変色の原因となります。

防水性能について

簡易移動機本体は、JIS 保護等級 4(防沫形)相当の防水性能がありますが完全防水構造ではありません。多少の水に濡れても使用できますが、水没した場合は故障の原因となります。なお、充電台と AC アダプターには防水性能はありません。

内蔵のラミネート式リチウムイオン電池に関するご注意

簡易移動機の本体は、ラミネート式リチウムイオン電池(以下充電電池、またはリチウムイオン電池という)を使用しています。

⚠ 危険

水・海水・ジュースなどで濡らさない

内蔵の充電電池に組み込まれている保護機構が壊れると、異常な電流、電圧で充電電池がショートし、発熱、破裂、発火の原因となります。



ストーブなどの熱源のそばに放置しない

発熱、破裂、発火の原因となります。



充電には、必ず専用の充電台を使用し、それ以外の方法では充電しない

他の充電器などを使用して充電を行なうと、発熱、破裂、発火の原因となります。



本体を火の中に投入したり、加熱しない

内蔵の充電電池の絶縁物が溶けたり、保護機構を損傷するだけでなく、発熱、破裂、発火の原因となります。



充電端子(本体および充電台)を金属で接続しない、ネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管しない

内蔵の充電電池がショートしたり、過大な電流が流れ、発熱、破裂、発火、あるいはネックレス、ヘアピンなどが発熱する原因となります。



強い衝撃を与えたり、投げつけたりしない

内蔵の充電電池に組み込まれている保護機構が壊れ、異常な電流、電圧で充電電池がショートする可能性があり、発熱、破裂、発火の原因となります。



釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしない

内蔵の充電電池が変形してショートする可能性があり、発熱、破裂、発火の原因となります。



内蔵の充電電池を分解したり、改造したりしない

内蔵の充電電池には異常を防止するための保護機構が組み込まれています。これらを損い充電すると、発熱、破裂、発火する原因となります。



火のそばや炎天下に停めた車中などでの充電はしない

高温になると異常を防止するための保護機構がはたらき充電できなくなったり、保護機構が壊れて異常な電流や電圧で充電され、発熱、破裂、発火の原因となります。



⚠ 警告

乳幼児の手の届かないところに置く

不用意な取り扱いには危険をとまねいます。



電子レンジや高压容器に入れない

急に加熱されたり、密閉状態が壊れたりして発熱、破裂、発火の原因となります。



はじめに

ご使用前に

使いかた

設定する

故障と判断する前に

仕様

内蔵のラミネート式リチウムイオン電池に関するご注意（つづき）

⚠ 警告

本体の異常に気付いたら、ただちに使用を中止する
使用中、充電中、保管時に、異臭や発熱、変色、変形など、今までと異なることに気がついたときは、絶対に使用しないでください。そのまま使用を続けると、内蔵の充電電池が発熱、破裂、発火する原因となります。

⚠ 注意

充電台に置いて1日経過しても本体の電源ランプが赤色点灯している場合は、ただちに充電を中止する
充電電池が発熱、破裂、発火する原因になるおそれがあります。

充電電池から異臭がするときは、ただちに火気から遠ざける

漏液した電解液に引火し、破裂、発火する原因となります。

本体から液体が漏液して目に入ったときはすぐに水で洗い、医師の診察を受ける

充電電池の電解液が漏液して液が目に入ったときは、こすらずに水道水などのきれいな水で十分洗った後、ただちに医師の治療を受けてください。放置すると液により、目に障害を与える原因となります。

直射日光の当たる場所、炎天下に停めた車中など、高い温度となる場所に放置しない

充電電池を漏液させる原因になるおそれがあります。

静電気が発生する場所では使用しない

充電電池には、危険防止のため保護機構が組み込まれています。静電気が保護機構に損傷を与え、充電時に発熱、破裂、発火の原因となるおそれがあります。

指定温度範囲以外での充電はしない

充電電池の充電温度範囲は0℃～+40℃です。この温度範囲以外での充電は充電電池を発熱、破損させる原因になるおそれがあります。

お買い上げ後初めて使用する際に、充電電池の異臭、発熱、異常などがあるときは使用しない

お買い求めの販売店、当社営業所、およびカスタマーセンターにご相談ください。

電波について

この製品は、1,895.616～1,902.528MHzを使用する無線設備です。この製品には1.9GHz帯を使用する無線設備で、時分割多元接続方式広帯域デジタルコードレス電話を示す右記のマークが表示されます。（一般社団法人 電波産業会 標準規格「ARIB-STD-T101」準拠）

1.9-D

この製品の使用周波数に関するご注意

- この製品の使用周波数帯では、PHSの無線局のほか、異なる種類のデジタルコードレス電話の無線局が運用されています。この製品は同一周波数帯を使用する他の無線局と電波干渉が発生しないように考慮されていますが、万一、この製品から他の無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、ご購入店、当社カスタマーセンターにご連絡いただき、混信回避のための処置等（例えばパーティションの設置等）についてご相談ください。
- この製品をCSデジタル放送を受信している環境で使用する場合、CSデジタル放送のアンテナ伝送路にこの製品の電波が混入（テレビ映像にモザイク状のノイズが発生）する可能性があります。この場合、シールド性の高い衛星放送対応の分波器、接続ケーブルをお使いいただくことで影響を軽減できる場合があります。
- 無線LANとは周波数が異なるので混信することはありません。

本体から漏液して液が皮膚や衣服に付着した場合は、ただちに水道水などのきれいな水で洗い流す
皮膚がかぶれたりする原因になるおそれがあります。

充電中、可燃物を上に載せたり、覆ったりしない
充電電池が発熱、破裂、発火するおそれがあります。

本製品の処理について

内蔵の充電電池は、絶対に分解・解体しない

分解・解体すると異臭がし、金属端子が露出し、ショートの原因となります。

- ご使用済みの本製品は一般家庭ゴミとして廃棄せず、下記の「充電電池のリサイクルについて」の内容に従って処理してください。捨てられた充電電池がゴミ収集車内などで破壊されてショートし、発火・発煙の原因になるおそれがあります。

充電電池のリサイクルについて

内蔵のリチウムイオン電池はリサイクル可能な貴重な資源です。なお、充電電池はお客様で交換できませんので、使えなくなった本製品は廃棄せず、輸送会社に「リチウムイオン電池」を含んだ内容物であることを伝え、輸送会社の指示にしたがって梱包のうえ、宅配便の配達記録が残る方法にて、下記までご送付ください。当社が責任をもってリサイクルいたします。



■送付時のご注意

- 配送料はお客様の負担となります。着払いでご送付頂いても受領いたしかねます。
- 本製品以外は対象外です。
- 回収対象外品が混入していた場合は、お客様負担にて返送させていただきます。
- 回収品のお引き渡し（輸送会社が受領したとき、または郵便物として集荷されたときを含む）により、回収品の所有権は弊社に転じるものとします。また、回収品のお引き渡し後における回収中止、回収品の返却には応じられません。

〒651-2241 神戸市西区室谷 1-2-2

DXアンテナ株式会社 カスタマーセンター 0120-941-542

〈電池に関するその他のご注意〉

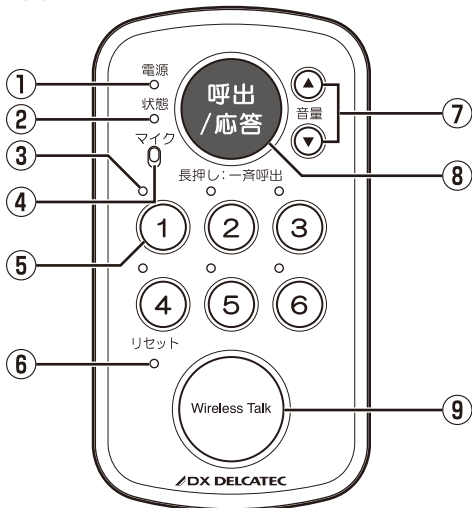
充電電池は消耗します。充電方法や使用方法によって、劣化しやすくなります。

- ・ 電池残量が十分にある状態で満充電を繰り返すと劣化を早める原因となります。
- ・ 電池残量なしの状態（本体が動作しない程消費している状態）での放置はしないでください。
- ・ 高温になる場所では、劣化が早くなります。涼しい場所でのご使用をおすすめします。
- ・ 充電しながら使用すると、充電と放電を短時間で繰り返すこととなり、充電電池の寿命が短くなります。
- ・ 長期間（半年以上）お使いにならない場合、電池特性を維持するため半年に一度は満充電することをおすすめします。電池残量なしの状態でも長期間放置すると、充電できなくなることがあります。

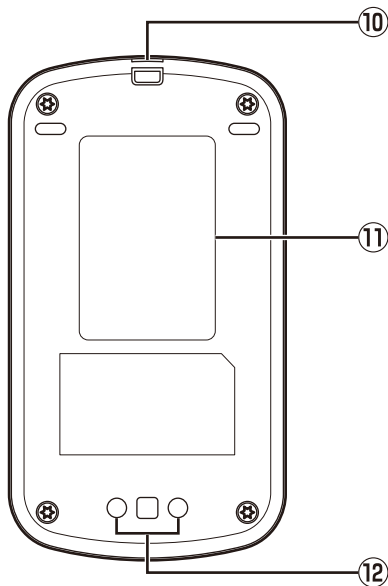
各部の名称とはたらき

簡易移動機

<正面>

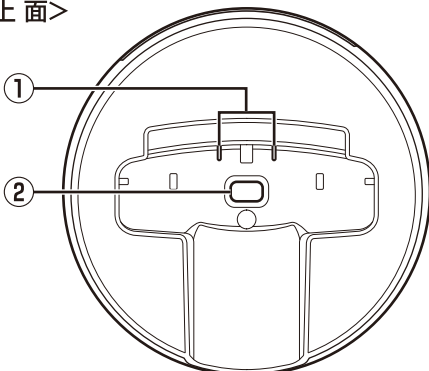


<背面>

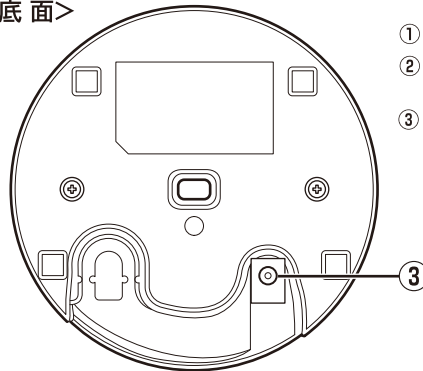


充電台

<上面>



<底面>



- ① 電源ランプ } 本製品の状態をLEDランプの点灯状態で示します。
② 状態ランプ } 詳しくは「ランプの表示について」
③ 着信ランプ } (➡6ページ)

④ マイク

通話時はこの部分に向かって話します。

⑤ 数字ボタン(1~6)

登録されている特定の相手呼び出す「指定呼出」(➡11ページ)の際に使用します。

⑥ リセットボタン(通常は使用しません)

万一本製品が動作しなくなった場合に、先の細いもので押してください(2秒以上長押し)。

なお、押しても登録情報は消去されません。

⑦ 音量▲/▼ボタン

音量(受話音量・着信音量)を調節します。

(➡操作方法は13ページ)

⑧ 呼出/応答ボタン

- ・親機や他の機器を呼び出すとき、または呼出に応じるときに使用します。
- ・長押し(3秒以上)すると、登録されているすべての機器を「一斉呼出」(➡12ページ)します。

⑨ スピーカー

呼出音や着信音、通話時の相手の声はここから聞こえます。

⑩ ストラップ取付穴

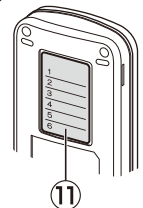
市販の携帯用ストラップなどを取り付けることができます。(➡詳しくは7ページ)

⑪ メモラベル(工場出荷時に本体に貼付済みです)

同じグループ内の子機や簡易移動機の設置場所や使用者をメモしてください。

※ 記入には油性ペンまたは油性ボールペンをお使いください。

※ 鉛筆で記入すると、擦れて消える場合がありますので、ご注意ください。



⑫ 充電端子

充電端子への接触注意



注意

ジュースなどの液体や金属が充電端子に接触しないようにご注意ください。故障や感電の原因となります。

はじめに

ご使用前に

使いかた

設定する

故障と判断する前に

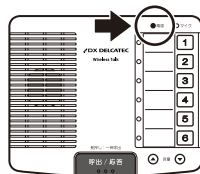
仕様

ランプの表示について

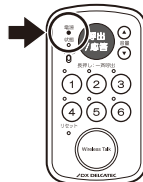
電源ランプ

(親機・簡易移動機)

親機 (参考)



簡易移動機



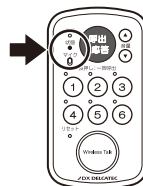
ランプの状態

機器の状態

緑	点灯	電源「入」	充電完了(充電台セット時) (注1)
赤	点灯	—	充電中(充電台セット時)/ 初期化中
赤	点滅(1秒おき)	簡易移動機が1台も登録されていない	親機に登録されていない
赤	点滅(5秒おき)	—	電池残量少
緑/赤	交互に点滅	登録モード	登録モード

状態ランプ

(簡易移動機のみ)



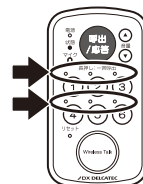
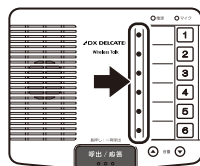
ランプの状態

機器の状態

緑	点灯		呼出中
緑	点滅(1秒おき)		着信中
緑	ゆっくり点滅(2秒おき)		通話中
赤	点滅(1秒おき)		親機との通信エラー
黄	点灯		自動応答モード

着信ランプ

(親機・簡易移動機)



ランプの状態

機器の状態

緑	点灯	呼出中/通話中	呼出中(数字ボタンを押して呼出時)
緑	点滅(1秒おき)	着信中	着信中/数字ボタンを押した状態
緑	ゆっくり点滅(2秒おき)	簡易移動機または子機間の通話中(注2)	簡易移動機または子機間の通話中
赤	点灯	初期化中(指定した子機番号に応じて)	—
赤	点滅(1秒おき)	数字ボタンを押した状態	—
赤	ゆっくり点滅(5秒おき)	簡易移動機の電池残量少	—

(注1) 充電以外の状態は、電源ランプは消灯しています

(注2) 親機が通話していない場合

快適な通話を保つために…

必ず、使用される場所で実際に通話ができることを確認してください。

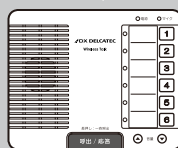
ご注意

ご使用の前に…

親機からの電波は十分届いていますか？

親機・簡易移動機の電源が「入」の状態、簡易移動機を取付場所にて状態ランプが赤点滅しないことを確認してください。赤点滅する場合は親機からの電波が不十分です。使用する場所を変え、状態ランプが消灯する場所を選んでください。

電波が弱いと…



準備する

充電する

充電台に AC アダプターをつなぐ

付属の専用 AC アダプター<品番：UV305-0505-JDXA-0007>

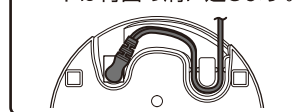
を、充電台底面の DC 5V 端子に接続し、電源プラグをコンセントに差し込みます。お買い上げ時は充電していただかないと使用できませんので、必ず 1 時間以上充電してください。



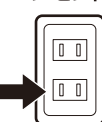
必ず付属の専用 AC アダプターを使用する

他の機器の AC アダプターを接続すると、故障や感電等の原因となります。

コードは背面の溝に通します。



AC100V
コンセントへ



専用ACアダプター
(UV305-0505-JDXA-0007)

簡易移動機を充電する

簡易移動機を図の向きにして充電台に「カチッ」と音がするところまで置き、充電します。充電中は電源ランプが赤色に点灯します。充電が完了すると、緑点灯に変わります。

充電池の状態表示

電源ランプの点灯で、簡易移動機の充電池の状態をお知らせします。

赤点灯	充電中
緑点灯	充電完了(満充電の状態)

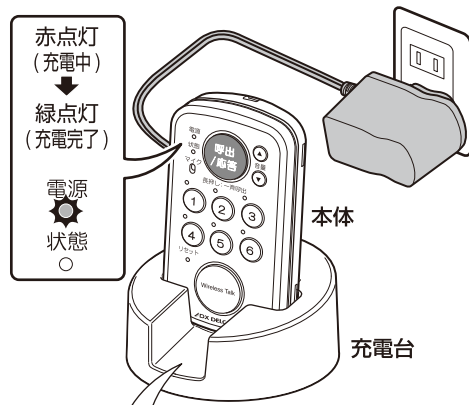
※ 簡易移動機と充電台の充電端子が汚れると、充電できないことがあります。汚れたときは乾いた布や綿棒などで拭き取ってください。

充電の目安：最大約 3 時間(満充電まで)

使用環境や電池残量によっては早く充電完了する場合がございます。

※ 充電台に置いても電源ランプがすぐに赤点灯しない場合がありますが、充電台に置いた状態から約5分以内には電源ランプが赤点灯します。赤点灯しない場合は、簡易移動機を充電台から取りはずして、再度充電台に置いてください。5分以上たっても電源ランプが赤点灯しない場合は、当社カスタマーセンターまでご相談ください。

赤点灯
(充電中)
↓
緑点灯
(充電完了)
電源
状態
○



本体

充電台

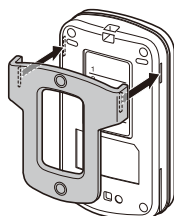
本体を充電台から取りはずすときは、充電台をおさえながら本体を持ち上げてください。

付属品等を使用する

ベルトクリップを取り付ける

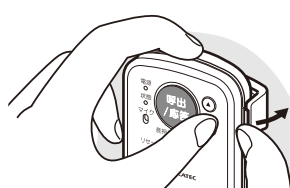
付属のベルトクリップを取り付けてお使いになれます。

(注1) 「カチッ」と音がするところまでしっかり取り付けてください。

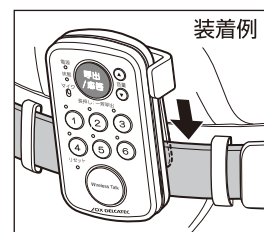


取り付ける (注1)

※ 取りはずす時は、一方の手で本体を押えながら、もう一方の手の指で少し広げてください。



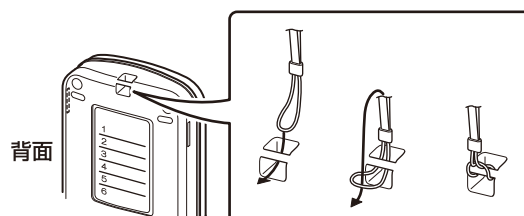
取りはずす



装着例

市販のストラップを取り付ける

市販の携帯用ストラップを取り付けてお使いになれます。



背面

はじめに

ご使用前に

使いかた

設定する

故障と判断する前に

仕様

本製品について…知っておいていただきたいこと

- **通話は1対1**で行ないます。(3者以上の同時通話はできません。)
- 1台の親機に対して、**簡易移動機および子機を最大6台まで登録**できます。
- ご使用の前に登録作業が必要です。(この作業が完了しないと本製品を使用できません)

最初に、登録済み子機の登録を解除(初期化)し、お使いになる簡易移動機を親機に登録する必要があります。
手順について詳しくは「機器の登録を解除する(初期化する)」(➡9ページ)、「簡易移動機を登録する」(➡10ページ)をご覧ください。

- 1台の簡易移動機に対して、**1台の親機にしか登録できません。**
(すでに登録済みの子機は、別の親機に登録はできません。)
- **簡易移動機どうし、または子機への通話も可能です。**
- 簡易移動機は相手を指定して通話可能です。(なお、子機からは指定呼出ができません)
- **同時に2回線で通話が可能です。**
- **全ての呼出や通話は、親機を介して行ないますので、親機の電源が切れたり、親機の電波がさえぎられると、簡易移動機からの呼出や通話ができなくなりますのでご注意ください。**
- **親機の電源が切れたり、親機との電波状態が悪くなると、簡易移動機の状態ランプが通信エラー(赤点滅)となり、電池の消耗が激しくなりますのでご注意ください。**(➡16ページ)

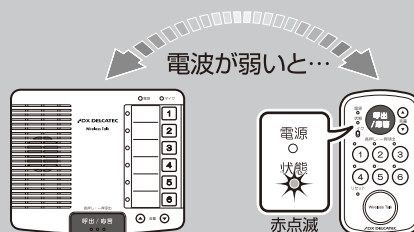
快適な通話を保つために…

必ず、使用される場所で実際に通話ができることを確認してください。

ご注意

ご使用前に…
親機からの電波は十分届いていますか？

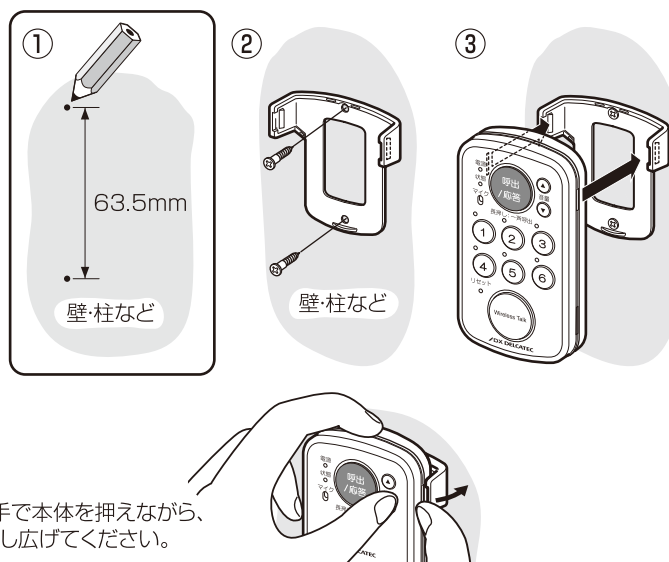
親機・簡易移動機を取付場所にて状態ランプが赤点滅しないことを確認してください。
赤点滅する場合は親機からの電波が不十分か、親機の電源が切れている可能性があります。まず、親機の電源を確認し、使用場所を変えて、状態ランプが消灯する場所を選んでください。



壁などに取り付けてお使いになる場合

本製品は、壁にかけてお使いいただくこともできます。
取り付けには市販の木ネジ(3.1×16mm)2本をお使いください。

- ① 取り付ける壁面にネジ穴の印をつけます
取り付ける位置に鉛筆等で印をつけます。
- ② ベルトクリップを取り付けます
ベルトクリップの2ヶ所の取付穴に、市販の木ネジ(3.1×16mm)2本をしっかりとねじ込み固定します。
- ③ 簡易移動機を取り付けます
取り付けたベルトクリップに本体を取り付けます。
取り付け後はしっかりと固定されていることを確認してください。



※ 取り外す時は、一方の手で本体を押えながら、もう一方の手の指で少し広げてください。

機器の登録を解除する（初期化する）

このようなときに
必要です

- はじめて使用するとき（お買い上げ時、簡易移動機は初期化済みです）
- すでに最大登録台数の6台が親機に登録されているとき
- 使用しない子機の登録を削除したいとき
- 別の親機に再登録したいとき
- 簡易移動機や子機を交換したいとき
- 親機が複数台あり、各グループの組み合わせを変更したいとき

親機に登録されている子機の登録情報を解除する

必ず子機の登録解除も行なってください。

- 1** 待受中に、呼出／応答ボタンを長押し（10 秒以上）して、「プー」と音が鳴ったら手を離す。

途中に「ピッ」という短い音が鳴りますが、「プー」と鳴るまで押すと、すべてのランプが黄点灯します。

- 2** 全てのランプが黄点灯している間（10 秒以内）に、音量▼ボタンを 2 回押す。

登録されている子機すべての着信ランプが赤点灯します。親機が初期化モードに入ります。

- 3** 着信ランプが赤点灯している間（10 秒以内）に、数字ボタン（1～6 のいずれか）のうち、初期化したい機器の番号を押す。

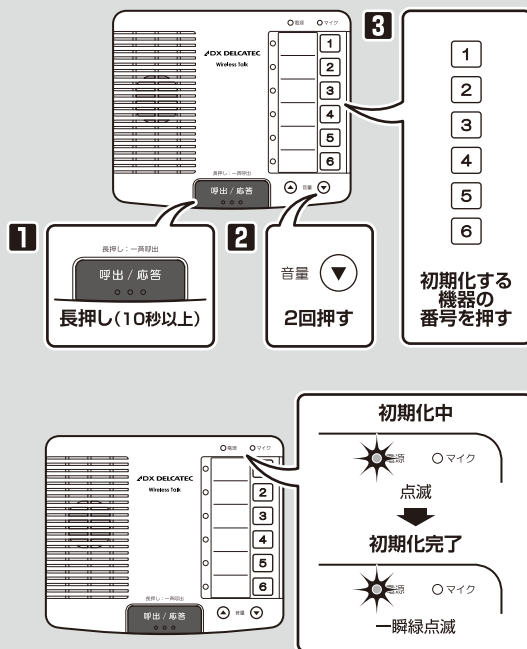
押した番号の着信ランプが赤点灯して、初期化が始まります。
※ 初期化中は電源を切らないでください。

- 4** 初期化が完了すると「ピー」と音が 1 回鳴り、電源ランプが一瞬、緑点滅後、緑点灯にかわります。

また、同時に解除された子機から「ピー、ピー」と 2 回音が鳴り、状態ランプが点滅します。

- 5** 登録解除の確認をする

解除した数字ボタン（1～6 のいずれか）を押すと「ピー、ピー、ピー」とエラー音が鳴り、登録解除されたことが確認できます。子機の登録情報がすべて解除された場合のみ、電源ランプが赤点滅します。



子機に登録されている親機の登録情報を解除する（再登録や変更時に行ないます）

必ず親機の登録解除も行なってください。親機の故障・交換等で親機がない場合は、以下の操作を行なってから、新しい親機に再登録してください。

※故障ではない場合も行えますが、親機の登録も解除してください。

- 1** 待受中に、呼出／応答ボタンを長押し（10 秒以上）して、「プー」と音が鳴ったら手を離す。

途中に「ピッ」という短い音が鳴りますが、「プー」と鳴るまで押すと、すべてのランプが点灯（※ 1）します。

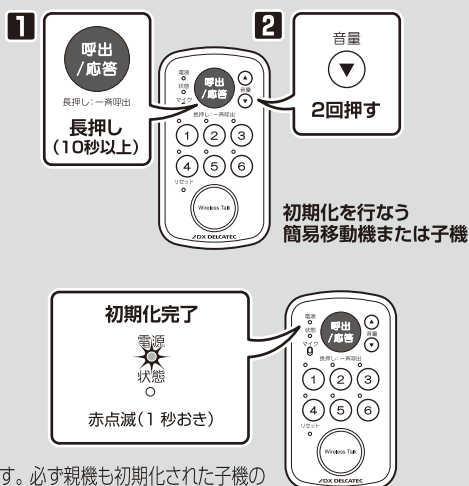
（※ 1）
電源ランプと状態ランプ… 黄点灯
着信ランプ …………… 緑点灯

- 2** 全てのランプが点灯している間（10 秒以内）に、音量▼ボタンを 2 回押す。

電源ランプが赤点灯し、「ピー」と音が鳴ります。簡易移動機の初期化が始まります。

- 3** 初期化が完了すると電源ランプが赤点滅（1 秒おき）します

※ 子機のみ初期化を行なった場合、親機には子機の登録情報が残ったままとなります。必ず親機も初期化された子機の番号に応じて、親機の初期化（子機の登録情報解除）を忘れずに行なってください。



以上完了しましたら登録作業に進んでください。

はじめに

ご使用前に

使いかた

設定する

故障と判断する前に

仕様

簡易移動機を登録する

このようなときに
必要です

- 簡易移動機の増設や子機を交換するとき
- 初期化後、再登録するとき

本システムは、簡易移動機および子機を合計最大6台まで登録することができます。

登録する前に、初期化(9 ページ)を行ない、新たに登録する機器の台数分の登録を解除しておく必要があります。

- 登録されている他のすべての機器が待受状態であることを確認してください。
- 簡易移動機は、満充電された状態で行なってください。

memo

- 登録中は呼出、通話はできません。

親機の操作

- 1** 親機の呼出応答ボタンを長押し(10秒以上)して、「ブー」と音が鳴ったら手を離す。

途中に「ピッ」と短い音が鳴りますが、「ブー」と鳴るまで押すとすべてのランプが黄点灯します。

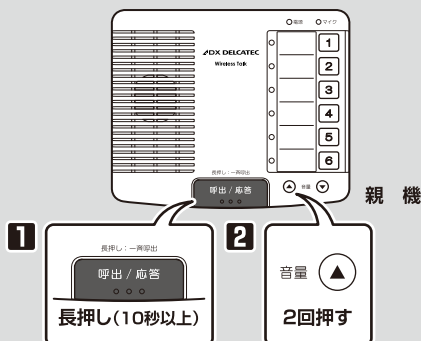
- 2** すべてのランプが黄点灯中(10秒以内)に、音量▲ボタンを2回押す

「ピー」と音が鳴り、親機が登録モードに入ります。

※ 電源ランプが緑／赤交互に点滅します。

※ 機器登録の空きが複数ある場合、若い番号から自動的に登録されます。

※すでに6台登録されている場合、「ピッ、ピッ、ピッ」とエラー音が鳴ります。使わない機器の登録を初期化してから、登録をしてください。



親機が登録モード中

簡易移動機の操作

- 3** 簡易移動機の待受中に呼出／応答ボタンを長押し(10秒以上)して、「ブー」と鳴ったら手を離す。

途中に「ピッ」と言う短い音が鳴りますが、「ブー」と鳴るまで押すと、すべてのランプが点灯します。(電源ランプと状態ランプが黄点灯、着信ランプが緑点灯します)

- 4** すべてのランプが点灯中(10秒以内)に、簡易移動機の音量▲ボタンを2回押す

登録モードになり、自動登録が始まります。

※ 登録中は、電源ランプが緑／赤交互に点滅します。

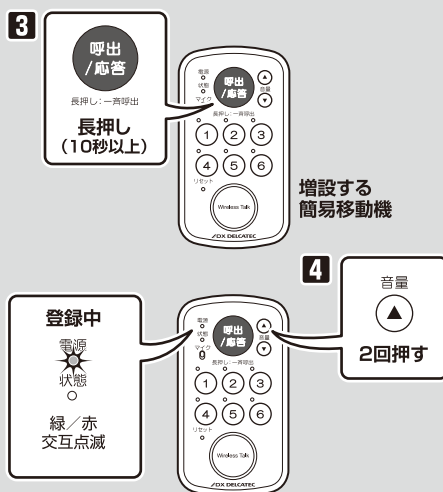
※ 緑／赤交互点滅の状態は約 1 分で自動的に終了します。

緑／赤交互点滅中に登録が出来なかった場合は、

1 に戻ってやりなおしてください。

※ 登録中は各機器の電源を切らないでください。

※ 登録を中断するときは、親機か簡易移動機のどちらか一方の呼出／応答ボタンを押します。



登録完了

- 5** 登録した機器の呼出／応答ボタンを押し、呼出ができることを確認してください。

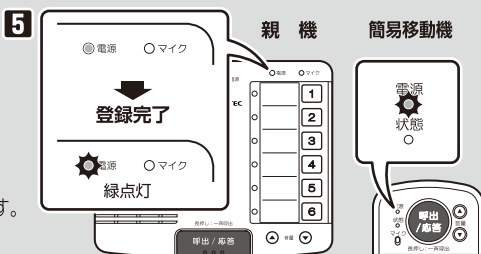
登録完了時は、それぞれの機器で以下のランプ動作と音が鳴ります。

親機の場合……………登録された機器番号の着信ランプが約 1 秒

赤点灯します。音は鳴りません。

簡易移動機の場合…………「ピー」と音が 1 回鳴り、すべてのランプが消灯します。

(登録がうまくいかないときは **1** に戻ってやりなおしてください)



通話する

通話ができない場合は「故障と判断する前に」(⇒17・18ページ)をご覧ください。

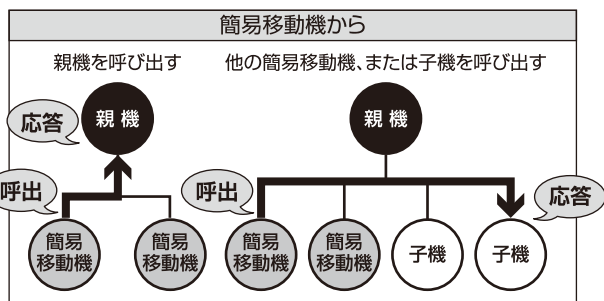
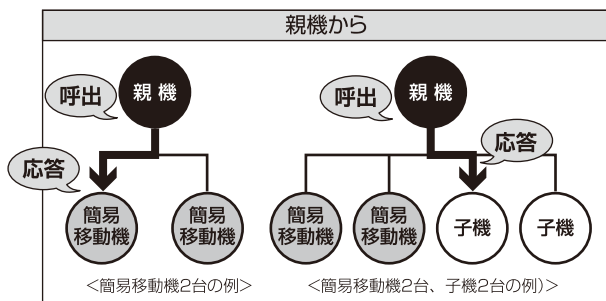
memo 「通話中」と「待受中」について

- **通話中** …… 登録されている他の機器と通話をしている状態をいいます。
- **待受中** …… 電源が入の状態、呼出をしていない状態、あるいは登録されている他のどの機器とも通話をしていない状態をいいます。

特定の相手と通話する(指定呼出)

親機から特定の相手呼び出したり、簡易移動機から親機だけや、特定の子機だけを呼出ことができます。

ご注意 子機からは指定呼出できません。



相手を呼び出す

1 待受中に、呼び出したい相手の数字ボタン(1～6のいずれか)を押す

押した番号の着信ランプが赤点滅します。

●簡易移動機から親機を呼び出すには次の2からはじめてください。

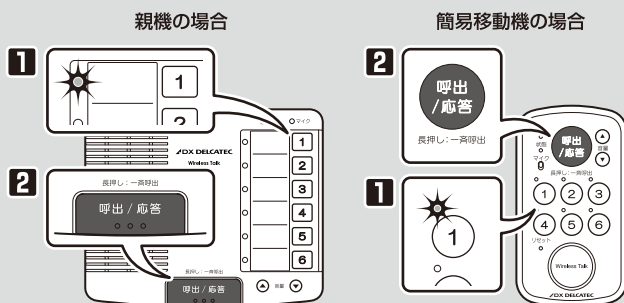
2 呼出/応答ボタンを押す

押した番号の着信ランプが緑点灯し、呼出音が鳴ります。(押して、離れたとき呼び出されます。)

●呼出を中止するとき

呼出中に呼出/応答ボタンを押します。

例) 番号「1」に登録されている簡易移動機を呼び出す



呼出に応じる

3 着信音が鳴ったら、呼出/応答ボタンを押す

着信中はランプが緑点滅します。

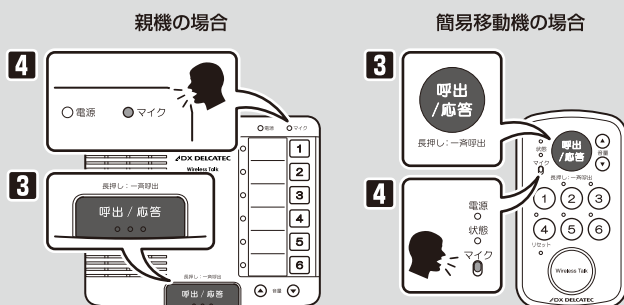
4 相手と話す(機器に向かって30 cm以内)

相手の声の大きさ(受話音量)を変えたいときは通話中に音量▲/▼ボタンを押します。(※1)

通話中のランプ動作は以下の通りです。

- 親機の場合……押した番号または、呼び出された相手の番号の着信ランプが緑点灯
- 簡易移動機の場合……状態ランプがゆっくり緑点滅

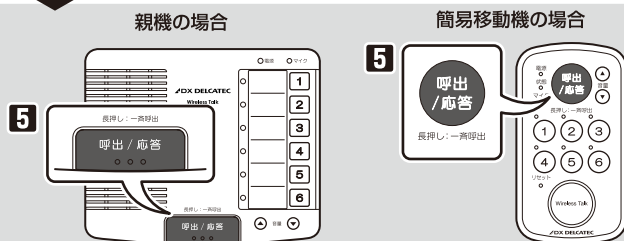
(※1) 詳しくは「相手の声の大きさを調える(受話音量)」(⇒13ページ)をご覧ください。



通話を終えるには

5 親機が簡易移動機のどちらかの呼出/応答ボタンを押す

通話時間は簡易移動機の電池残量がなくなるまで制限がありませんので、電池の消耗をおさえるためには、どちらかの呼出/応答ボタンを押して通話を終了してください。



はじめに

ご使用前に

使いかた

設定する

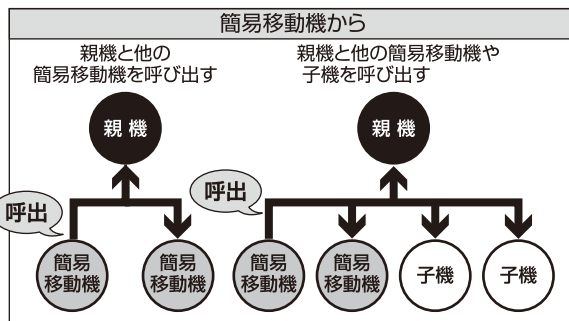
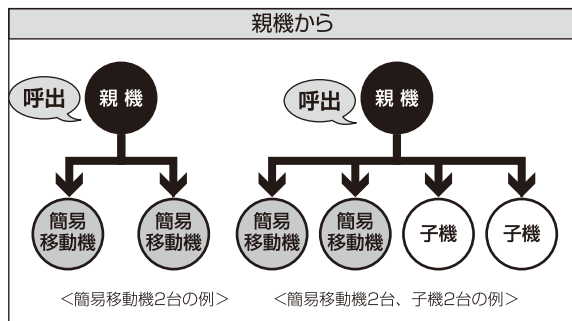
故障と判断する前に

仕様

一斉呼び出しをする

登録されているすべての機器を一斉に呼び出すことができます。
また、呼出に最初に応じた1台と通話することができます。

ご注意 通話は1対1となります。



登録されているすべての機器を呼び出す

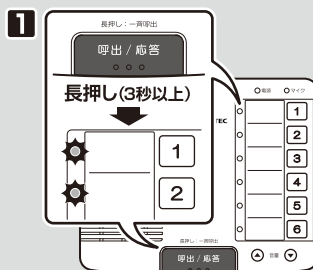
- 1 待受中に、呼出／応答ボタンを長押し(3秒以上)して「ピッ」と音が鳴ったら手を離してください。(10秒以上は押さないでください)

ランプ(※1)が緑点灯し、呼出音が鳴ります。

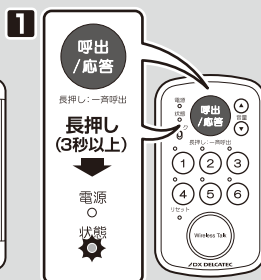
- (※1) 親機の場合 登録されている機器
すべての着信ランプ
簡易移動機の場合 状態ランプ

- 呼出を中止するとき
呼出中に呼出／応答ボタンを押します。

親機の場合



簡易移動機の場合



呼出に応じるには

- 2 着信音が鳴ったら、呼出／応答ボタンを押す
着信中は、ランプ(※2)が緑点滅します。

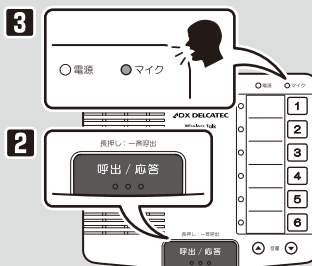
- (※2) 親機の場合 呼び出された相手の
番号の着信ランプ
簡易移動機の場合 状態ランプ

- 3 相手と話す(機器に向かって 30 cm以内)
相手の声の大きさ(受話音量)を変えたいときは
通話中に音量▲／▼ボタンを押します。(※3)
通話中のランプ動作は以下の通りです。

- (※3) 親機の場合 押した番号または、呼び出された
相手の番号の着信ランプが緑点灯
簡易移動機の場合 状態ランプと押した番号または
呼び出された相手(親機からの
着信は除く)の番号の着信ラ
ンプが緑点滅

memo 最初に呼出に応じた1台との通話となります。

親機の場合



簡易移動機の場合



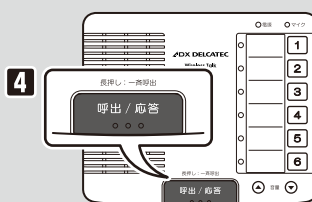
(※3) 詳しくは「相手の声の大きさを
変える(受話音量)」(→13 ページ)をご覧ください。

通話を終えるには

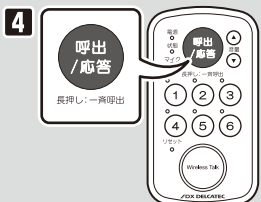
- 4 親機が簡易移動機のどちらかの
呼出／応答ボタンを押す

通話時間は電池残量が無くなるまで制限がありません
ので、電池の消耗をおさえるためには、どちらかの呼出
／応答ボタンを押して通話を終了してください。

親機の場合



簡易移動機・子機の場合



相手の声の大きさを変える(受話音量)

通話中の音量を、4段階(大／中／小／最小)に調節することができます。【工場出荷時設定：大】

※ 音量は通話中のみ調整できます。

memo 簡易移動機ごとに、それぞれ個別に設定できます。

通話中のみ

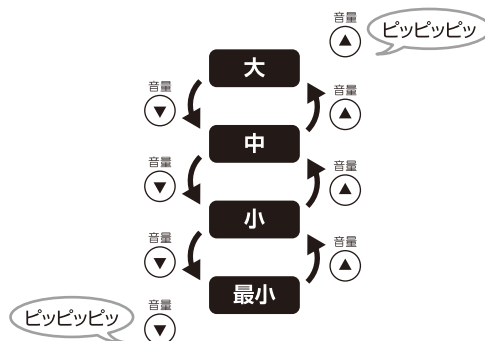
通話中に、音量▲／▼ボタンを押す

- ▲ボタン…音量を上げる
- ▼ボタン…音量を下げる

ボタンを押すたびに音量が変わります。

※ 音量「大」時に▲ボタンを押したとき、あるいは音量「最小」時に▼ボタンを押したときは「ピッピッピッ」と警告音が鳴ります。

※ 警告音は調整できません。



ご注意 音量ボタンを押した際の「カチ、カチ」というボタンの操作音や、「ピッピッピッ」という警告音が通話相手に聞こえる場合がありますが、故障ではありません。

着信音の大きさを変える(着信音量)

着信時の着信音量を、4段階(大／中／小／切)に調節することができます。【工場出荷時設定：大】

memo 簡易移動機ごとに、それぞれ個別に設定できます。

待受中のみ

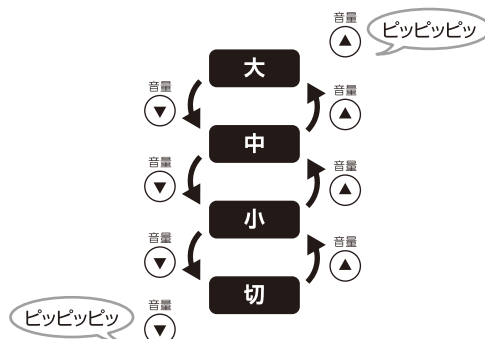
待受中に、音量▲／▼ボタンを押す

- ▲ボタン…音量を上げる
- ▼ボタン…音量を下げる

ボタンを押すたびに着信音(ベル 1)が鳴り、音量が変わります。

※ 音量「大」時に▲ボタンを押したとき、あるいは音量「切」時に▼ボタンを押したときは「ピッピッピッ」と警告音が鳴ります。

※ 警告音は調整できません。



ご注意 呼出音(相手を呼び出すとき自分から出る音)の音量は変更できません。

着信音の鳴り分け設定

簡易移動機には、着信音で呼出元が判別できる、着信音鳴り分け機能があります。

例えば登録されている簡易移動機が6台ある場合、数字ボタン1～6に登録された機器ごとに、それぞれ別の着信音を設定することができます。

着信音のパターンは8種類から選べます。

- ご注意**
- 親機・簡易移動機それぞれ個別に設定できます。
 - 呼出音の鳴り分け設定はできません。
 - 着信音を鳴らしたくない場合は、「切」に設定してください。(➡13 ページ)

着信音1	ベル1	着信音5	メロディ1
着信音2	ベル2	着信音6	メロディ2
着信音3	ベル3	着信音7	メロディ3
着信音4	ベル4	着信音8	メロディ4

【工場出荷時設定：着信音 1】

設定する

- 1** 待受中に、簡易移動機の数字ボタン(1～6のいずれか)のうち、設定したい機器の番号を押す

押した番号に対応する着信ランプが緑点滅します。
登録されていない番号は点灯しません。

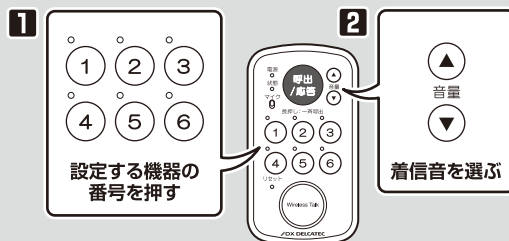
- 2** 着信ランプが緑点滅中(10秒以内)に、簡易移動機の音量▲／▼ボタンを押す

押すごとに着信音が変わり、選んでいる着信音が鳴ります。

- 3** 呼出／応答ボタンを押す

「ピー」と音が鳴り、選択した着信音に設定されます。

※ **3** で呼出／応答ボタンを押さずに10秒以上経過すると、
「ピッピッピッ」と警告音が鳴り、終了します(変更は反映されません)。



自動応答を設定する

自動応答を「入」に設定すると、親機から簡易移動機(または子機)を呼び出した際、呼出／応答ボタンを押さなくても、自動的に通話状態に切り換えます。【工場出荷時設定：切】

自動応答モードについて

- 通常応答モード… 呼出／応答ボタンを押して応答するモード⇒簡易移動機の状態ランプは待受中、消灯しています。
- 自動応答モード… 自動で通話がはじまるモード⇒簡易移動機の状態ランプは待受中、黄点灯します。

<重要>

⚠ 注意

- 自動応答モードに設定する簡易移動機(または子機)は1台のみでお願いします
複数台でこの設定にしますと、自動応答モードにした各簡易移動機からの応答信号が、同時に親機に戻ってきますので相互に干渉してつながらないことがあります。
また、つながった場合でも、呼び出したい簡易移動機や子機ではないことや、自動応答モードでない簡易移動機や子機とは、このモードを解除するまでつながりません。
- 着信音は鳴りません
呼び出した方の声が簡易移動機または子機から突然でますので、お年寄りや心臓の弱い方には大声で呼びかけないよう注意してください。

自動応答を「入」に設定する

- 1 待受中に、呼出／応答ボタンを長押し(10秒以上)して、「プー」と音が鳴ったら手を離す。

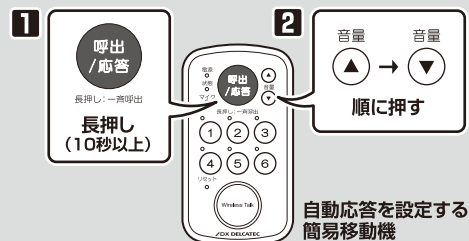
途中に「ピッ」という短い音が鳴りますが、「プー」と鳴るまで押すと、すべてのランプが黄点灯します。

- 2 すべてのランプが点灯している間(10秒以内)に音量▲ボタンを押して、続けて音量▼ボタンを押す

- 3 設定が完了すると「ピー」と音が鳴る
(状態ランプが黄点灯します。)

● 設定を「切」にするとき

設定「入」の状態で上記手順を行なうと、設定が「切」に切り換わり、状態ランプが消灯します。



⚠ 注意 自動応答「入」時の電池の消耗について

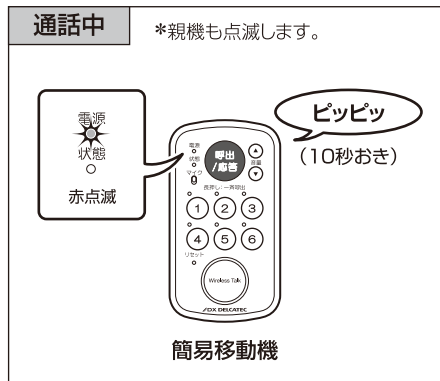
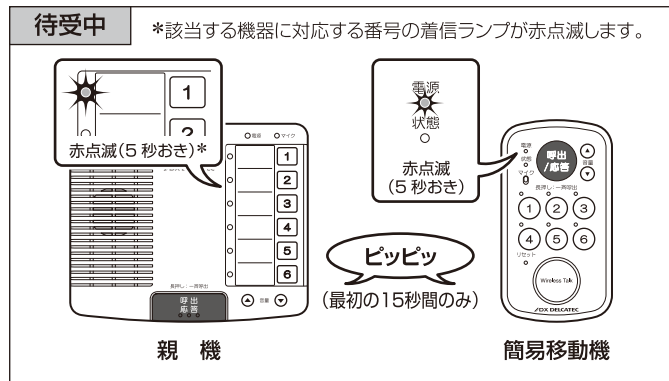
自動応答を「入」に設定すると、消費電流が増えるため、通常より連続待受時間が短く(半分程度に)なります。

電池残量警告音について

簡易移動機の電池残量が少なくなったとき、警告音と電源ランプでお知らせします。

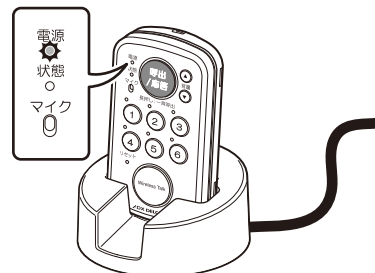
memo 警告音の音量は変更できません。

下図のように待受中、通話中にランプが赤点滅し、警告音が鳴ります。



警告音が鳴ったら、簡易移動機を充電台に戻し、充電してください。

ご注意 親機の電源が切れたり、親機との電波状況が悪くなると、状態ランプが通信エラー（赤点滅）となり電池の消耗が激しくなります。



本体を充電台にカチッと音がするところまで置いて充電してください。

電池残量警告音の入・切設定

電池残量が少なくなると、警告音とランプの点滅でお知らせします。

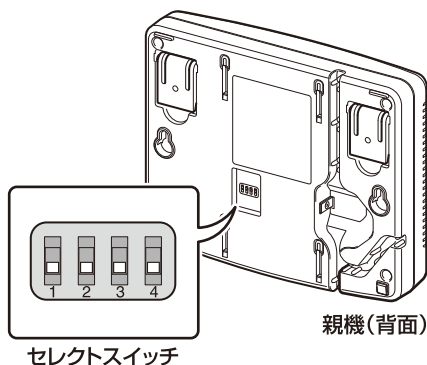
親機のみ、電池残量警告音を鳴らないように設定することができます。【工場出荷時設定：入】

ご注意 簡易移動機ごとに設定することはできません。「切」に設定した場合は、登録されているすべての簡易移動機で警告音が「切」設定となりますので、簡易移動機を2台以上お使いの場合はご注意ください。また、電池残量のランプの点滅は「切」にはできません。

設定の「入」・「切」は、親機背面にあるセレクトスイッチで切り換えます。

- 先の細いマイナスドライバー等を使用して切り換えてください。無理に操作すると破損するおそれがあります。

設定「入」 (警告音を鳴らす) 【工場出荷時設定】	設定「切」 (警告音を鳴らさない)
 1 2 3 4 1番を「下」にする	 1 2 3 4 1番を「上」にする



故障と判断するまえに

簡易移動機

本製品のすべての通話は、親機を介して行ないます。正常に動作しない場合は、親機からの影響を受けている可能性がありますので、親機とあわせて確認してください。

症 状	ここをチェック	対策・処置のしかた
呼出または通話できない	数字ボタンを押しても着信ランプが点滅しませんか？	● 電池残量がありません。1時間以上充電してください。
	状態ランプが赤点滅していませんか？	● リセットスイッチを先の細いもので押してください。(➡5ページ) ● 簡易移動機または親機を移動して(1分ほど待つ)、簡易移動機の状態ランプが消える場所で再度、呼出/応答ボタンを押して確認してください。 ● 近くにDECT準拠方式のコードレス電話やPHSがある場合は、干渉となるため、離してお使いください。(➡4ページ)
相手の声が小さい、または雑音がする、音が途切れる	電源ランプが赤点滅していませんか？	● 電池残量が少なくなっています。充電台に置いて1時間以上充電してください。
	受話音量の設定が「最小」または「小」になっていませんか？	● 「中」または「大」に設定してください。(➡13ページ)
	同時に話していませんか？	● 相手が話し終えてから話してください。(通話は音の大きい方が優先されます。)
	簡易移動機の周囲の音が大きくありませんか？	● 周囲の静かなところで使用してください。
	相手のマイク穴がふさがれていませんか？	● マイク穴をふさがないでください。
	本体を振動させていませんか？	● 振動させないでください。振動がマイクに伝わりこちらの音が優先されます。
	音量ボタンを操作していませんか？	● 音量ボタンを押すと、相手側にボタンの操作音が漏れ、通話が途切れたりする可能性があります。
	簡易移動機の上部(呼出/応答ボタン付近)を手でおおっていませんか？	● 上部から手を離してください。
エコーや反響音(ハウリング)がする	「ピピピ」と音が鳴っていませんか？	● 鳴らなくなる所まで親機に近づいてください。
	マイク穴に異物(ホコリ、水たまりなど)が詰まっていますか？	● 異物を取り除いてください。
こちらの声が相手に聞こえない	親機やその他の簡易移動機、子機と距離が近すぎませんか？	● 1m以上離れた場所で通話をしてください。
	相手の周囲音が大きくありませんか？	● 周囲の静かなところで使用してください。
着信音が小さいまたは聞こえない	マイクから離れすぎていませんか？	● 簡易移動機に向かって(30cm以内)話してください。
	着信音量の設定が「最小」または「切」になっていませんか？	● 「中」または「大」に設定してください。(➡13ページ)
一斉呼出ができない	親機背面にあるセレクトスイッチ「2」が「上」(一斉呼出を禁止している状態)になっていませんか？	● セレクトスイッチ「2」を「下」にしてください。 ● 親機の使用状態を確認してください。

はじめに

ご使用前に

使いかた

設定する

故障と判断する前に

仕様

簡易移動機(つづき)

はじめに

ご使用前に

使いかた

設定する

故障と判断する前に

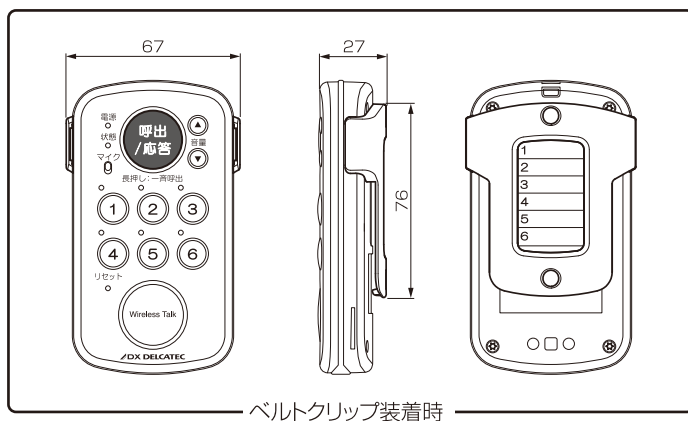
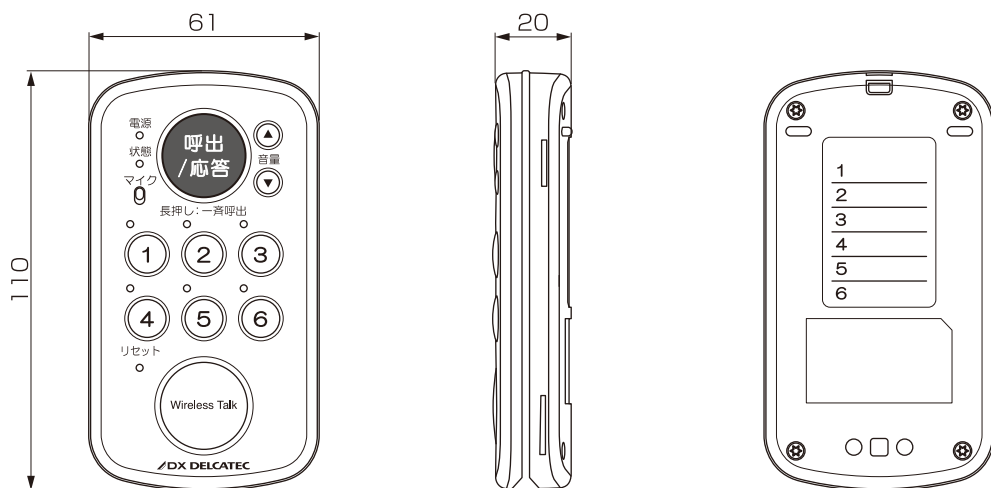
仕様

症 状	ここをチェック	対策・処置のしかた
充電できない	電源ランプが消灯していませんか？	● いったん充電台から取りはずし、再度充電台に置いて本体を5分以上充電してください。また、1日充電しても、充電できない場合は故障の可能性がありますので、すぐに使用をやめて当社カスタマーセンターにご相談ください。(➡7ページ)
	停電になっていませんか？	● 復旧するまでお待ちください。
	AC アダプターがコンセントから抜けていませんか？	● ACアダプターをコンセントにしっかりと差し込んでください。(➡7ページ)
	AC アダプターのプラグが充電台から抜けていませんか？	● ACアダプターのプラグを充電台にしっかりと差し込んでください。
	充電台に正しく置いていますか？	● 充電台に正しく置いてください。その際、電源ランプが赤点灯したことを確認してください。
	充電端子が汚れていませんか？	● 本体と充電台の充電端子を乾いた布や綿棒で拭き取ってください。
充電してもすぐに電池切れとなる	周囲の温度が 0℃以下または 40℃以上の環境となっていないですか？	● 0℃～+40℃の範囲で充電を行なってください。
	充電は十分に（電源ランプが緑点灯になるまで）されていますか？	● 充電台に置き、満充電（電源ランプが緑点灯）になるまで充電してください。 ● 充電電池の寿命が考えられます。 なお、簡易移動機の電池は交換できませんので、分解せずに当社までご送付ください。また、処分する場合は当社にてリサイクル処理を行ないますので、リサイクル回収の指示にしたがってください。(➡4ページ)

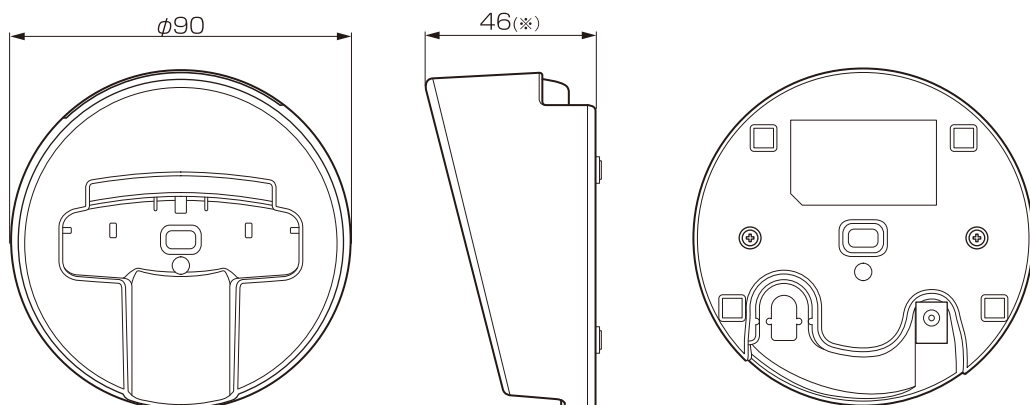
外形寸法

(単位：mm)

簡易移動機（本体）



充電台



※充電台に本体を置いたときの高さは約120mmになります。

はじめに

ご使用前に

使いかた

設定する

故障と判断する前に

仕様

仕様

電気性能規格

品名	簡易移動機	
型番	WCM10	
標準規格	ARIB STD-T101準拠	
周波数 (MHz)	1,895.616~1,902.528(1.728MHz step)	
通信方式	時分割複信方式	
通話可能距離 (m)	100(見通し)	
増設子機の登録台数	親機に対して最大6台(簡易移動機+子機)	
防水性能	IPX4(防沫形)(充電台は除く)	
電源	移動機	リチウムイオン電池 DC3.7V 325mAh
	充電台	専用ACアダプター 入力: AC100V(50/60Hz) 出力: DC5V 0.5A
消費電力 (W)	1.4(充電時)	
連続通話時間 (h)	約5(注1)	
待受時間 (h)	約72(自動応答モード「切」時)(注1)	
充電時間 (h)	約3	
使用温度範囲 (℃)	0~+40(充電環境を含む)	
外形寸法 (mm)	本体: 110(高さ)×61(幅)×20(奥行) 充電台: 46(高さ)×φ90	
質量 (g)	85	
付属品	ACアダプター(コード長1.5m) (UV305-0505-JDXA-0007)×1個 ベルトクリップ×1個 充電台 ×1個	

(注1) 満充電の場合

- 簡易移動機のみを補修用部品としてご注文いただく際は「WCM10 簡易移動機」とご指定ください。
- 充電台のみを補修用部品としてご注文いただく際は「XPWM0001 充電台」とご指定ください。

※この製品を処分するときは、簡易移動機はリサイクル処理をしてください。(4ページの「本製品の処理について」をご覧ください)
簡易移動機以外は地方自治体のルールにしたがって処理してください。

動作仕様

呼出	親機、簡易移動機、子機へ
通話音量 / 着信音量 (通話音量と着信音量は非連動)	通話 4段階(大/中/小/最小) 着信 4段階(大/中/小/切)
着信音	8種類から選択
自動応答	有
通信不可時の警告 (ランプと警告音)	有
簡易移動機の電池切れ警告 (ランプと警告音)	有

規格および仕様は改良により、予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

保証書

型番	
WCM10	
ご購入先	ご住所・ご店名
販売店	電話 () —
お名前	ふりがな
お客様	お住所
様	電話 () —
お買上年月日	保証期間
年 月 日	お買上日から 1 年間

※本書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管ください。

●無料修理規定

1. 本保証書は、お買い上げから下記保証期間内に故障した場合、無料修理規定により、当社が責任をもって無料修理を行なうことをお約束するものです。(消耗部品は除く)したがって、この保証書によって保証書を発行しているもの(保証責任者)、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
2. 保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明な場合は、お買い求めの販売店、当社営業所またはカスタマーセンターにお問い合わせください。なお、商品を直接当社へ送付した場合の送料などはお客様のご負担とさせていただきます。また、保証期間経過後の修理についても、お買い求めの販売店、当社営業所またはカスタマーセンターにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。
3. 保証期間中、取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で故障した場合には、お買い求めの販売店を通じて無料修理いたしますのでお申し付けください。
4. 次のような場合には保証期間内でも有料修理となります。
 - ① ご使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障および損傷。
 - ② お買上げ後の取り付け場所の移設、輸送、落下などによる故障および損傷。
 - ③ 火災、地震、噴火、洪水、津波などの水害、落雷、その他の天変地異、戦争・暴動による破壊行為、公害、損害、ガス害、ねずみや昆虫、鳥など動物の行為による損傷、指定以外の使用電源(電圧、周波数)や異常電圧による故障および損傷。
 - ④ 塗装の色あせなどの経年劣化や、使用に伴う摩擦などにより生じる外観上の現象。
 - ⑤ 用途以外(例えば車両、船舶への搭載など)に使用された場合の故障および損傷。
 - ⑥ 本保証書を提示・添付されていない場合。
 - ⑦ 本保証書にお買上げ年月日、お客様名、お買い求めの販売店の記入のない場合、または字句を書き換えられた場合。
5. 本保証書は日本国内においてのみ有効です。(This Warranty is valid only in Japan.)
6. 期間中の転居、贈答品、その他の理由によりお買い求めの販売店に修理が依頼できない場合には、当社カスタマーセンターまたは当社営業所にご相談ください。
7. お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

カスタマーセンター (30分) 0120-941-542

お昼時間土・日・祝日もご利用ください!

DXアンテナ株式会社

携帯電話・PHS・一部のIP電話で左記番号がご利用にならない場合 03-4530-8079
(受付時間 9:30~17:00 夏季・年末年始休暇は除く)

ホームページアドレス <http://www.dxantenna.co.jp/>

本社/〒652-0807 神戸市兵庫区浜崎通2番15号

(1404)